

# Magtration System magLEAD series

## クイックマニュアル - magLEAD 6gC / 12gCによるウイルス核酸抽出 -

### 抽出サンプル、プロトコル（専用ICカード）

対応サンプル種（サンプル液量 1000  $\mu$ L）

ヒトの血清、EDTAまたはクエン酸を含む血漿、咽頭拭い液、鼻腔拭い液、尿、前処理済みの唾液

**Check!!** 抽出試薬とプロトコルの組み合わせは必ず守ってください。意図した抽出動作が行われず、性能低下や装置故障の原因となります。

ウイルス核酸抽出プロトコル（専用ICカード）



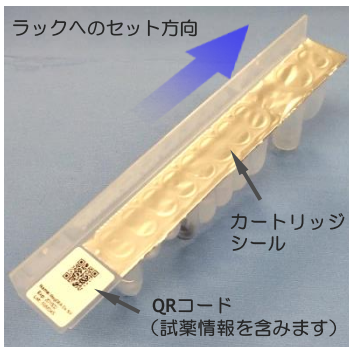
magLEAD 6gC用



magLEAD 12gC用

### 試薬カートリッジ (MagDEA<sup>®</sup> Dx MV II, 製品コード：E1323)

#### 試薬カートリッジ



**Check!!**

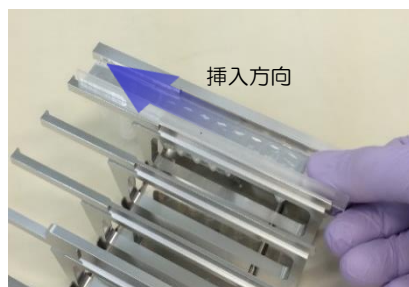
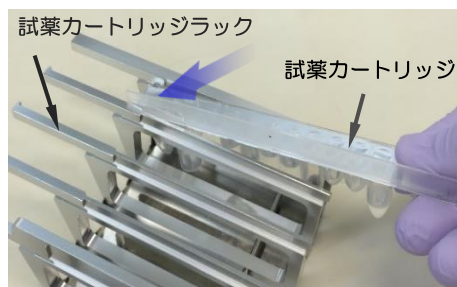
1. カートリッジシールの裏側やウェル壁面に試薬（特に磁性粒子）の付着が見られる場合、カートリッジを軽く振って落として下さい。
2. 試薬カートリッジのウェル底に空気層がある場合は、カートリッジを軽く振って除いてください。空気層があるまま処理を行うと、試薬を完全に吸引できなかったり、攪拌時に泡立ちすることがあります。

本試薬は、10~30℃にて保存し、高温多湿、振動のあるところは避けて保管してください。また、アルミシールを上にして保管してください。

### サンプルと消耗品の準備

#### ① 試薬カートリッジのセット;

試薬カートリッジは試薬カートリッジラックに対し手前側より溝に合わせてスライドさせながら挿入してください。試薬カートリッジがラックの奥にあたり、止まるまで確実にセットしてください。



#### ② サンプルとその他消耗品のセット;

#### 必要消耗品



- S** 1.5 mLチューブ（サンプル液量1000  $\mu$ L）
- T2** 2.0mL Cryopreservation Tube※1
- T1** チップ & チップホルダー※2
- E** 1.5 mLチューブ（溶出液回収用）



magLEAD Consumable Kit  
(製品コード: F4430)



2.0mL Cryopreservation  
Tube W/Cap  
(製品コード: F4450)

※1 消耗品キット(F4430)には含まれません。製品コードF4450を別途購入する必要があります。

※2 チップホルダーは工程中、廃液回収容器として使用します。Run終了後、消耗品類を廃棄する際には注意してください。

**Check!!**

- ランを開始する前に必ずチューブキャップを外してください。
- 指定消耗品以外は使用しないでください。

## 装置のオペレーション



Check!!

必ず「**MagDEA Dx MV II**」プロトコルICカードをご使用ください（右図参照）。

ICカードの装置本体への挿入、または装置から取り出す際は、必ず電源がOFFの状態で行ってください。

プロトコルICカードを挿入し、装置の電源を入れます。

▼ 装置のドアを開けてください。

装置は自動的に軸の初期動作を行い、ホームメニュー画面が表示されます。続けて、「START」ボタンを押します。

MagDEA Dx MV II  
magLEAD 12gC  
ver.1.0  
OK = ENT



Check!!

“MagDEA Dx MV II”が表示されていることを確認してください。

Caution: Memory full  
Oldest Report file  
will be erased.  
1:Cont ESC:abort run

左のメッセージが表示された場合：

レポートファイル管理ソフトウェア“magLEAD Communicator”をご使用の場合、装置に保存されているレポートファイルをPCへ送信してください。ソフトウェアをご使用されていない場合は“1”を押してください。

Input batch info?  
Yes = ENT  
Skip = START

バッチ情報の入力を行う場合は“ENT”ボタンを、行わない場合は“START”ボタンを押してください。  
※バッチ情報の入力には別途、バーコードリーダーとPCソフトウェアが必要となります（オプション）

Start

Reagent cartridge:  
MagDEA Dx MV II  
Prod.Code : E1323  
OK = ENT



Check!!

使用する試薬情報が表示されます。試薬カートリッジのQRコードに記載の試薬名と一致していることを確認してください。

試薬カートリッジ  
QRコード

Hole E : 1.5ml tube  
Hole T1 : Tip&Holder  
OK = ENT, Prev.=ESC

消耗品のラックへのセット位置が表示されます。指示に従い、正しくセットしてください。

Hole T2 : 2.0ml tube  
Hole S : Sample  
OK = ENT, Prev.=ESC

サンプルと消耗品のラックへのセット位置が表示されます。指示に従い、正しくセットしてください。

Select elution vol.  
1. 50 µl 2. 100 µl  
3. 200 µl  
Next = 1 - 3, Prev.=ESC

溶出液量の選択画面が表示されます。1～3のいずれかのボタンを押してください。

Sample : 1000 µl  
Elution : 50 µl  
OK=ENT, Prev.=ESC

表示例

サンプル液量と溶出液量の確認画面が表示されます。

## ウイルス核酸抽出プロトコル（専用ICカード）



magLEAD 6gC用  
（製品コード：I8206）



magLEAD 12gC用  
（製品コード：I8212）

Ready to Start.  
Press START key!  
Next=START,Prev.=ESC

準備が整いましたら  
“START”ボタンを押してください。

装置のドアを開けてください。

Start

約55分間

Run

プロトコルが終了すると  
ピープ音が鳴ります。

COMPLETED!  
Press ENT key

プロトコルの終了時刻が表示されます。

Open the door.  
Remove elution tube,  
reagent and plastic  
OK = ENT

ドアを開け、溶出液や使用済みの消耗品、試薬カートリッジを取り出してください。

Check!! 感染性を有するものとして取り扱いください。

UV decontamination?  
Yes = ENT  
Skip = START

抽出動作に続いてUVランプによる除染を行う場合は、“ENT”ボタンを、行わない場合は“START”ボタンを押してください。

Start

All process finished!  
Press ENT key

全ての工程が完了したことを伝えるメッセージが表示されます。

Report file sent  
Next = ENT key

レポートファイルの送信画面が表示されます。

装置のシリアルポート設定で“Not Used”としている場合：  
レポートファイルは作成されませんが、表示は“sent”となります。

装置のシリアルポート設定で“PC”としている場合：  
プロトコル完了と共にレポートファイルが自動作成され、外部に接続したPCへ送信されます。装置が外部PCならびにPCソフトウェアと接続されていない場合は“failed”と表示されます。

ホームメニュー画面に戻ります。